

地域と医療を結ぶ広報誌

風によせて

vol.41
2017.1

発行

編集:福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 住所:〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1
TEL:(0248)22-2211 FAX:(0248)22-2218 HP:<http://www.shirakawa-kosei.jp/>



contents

- ごあいさつ「謹賀新年」…………… 2
- 院内ニュース…………… 5・6・7
- 風邪によせて…………… 3
- インフォメーション…………… 8
- グッドデザイン賞(からだの学校) …… 4



福島県厚生農業協同組合連合会

白河厚生総合病院

謹賀新年



病院長・白河総合診療センター長
前原 和平

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。イギリスのEU離脱や米国トランプ大統領の誕生、そしてテロ事件の多発など、世界が混迷に向かっているという不安のなかに平成29年を迎えました。日本の主体性が問われる一年となりそうですが、国家の平和と繁栄、そして皆様お一人お一人にとりまして、希望に満ちた明るい年になりますことを心からお祈り申し上げます。

昨年は医療の質の向上に努め、病院機能評価機構並びに輸血機能評価機構から5年間の認定証をいただくことができました。また、急性疾患の回復期にリハビリテーションを行う地域包括ケア病棟を増床いたしました。独歩で入院した方は独歩で退院することを目指して行きたいと思っております。さらに、救急医療では3,000台と過去最多の救急車を受け入れることができました。

今年は酉年です。酉という漢字は果物が成熟して収穫できる状態を表すようですが、病院もこれに倣って診療の充実を図ってまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

白河厚生総合病院の理念

「地域を守り地域の皆様に愛される病院を目指します」

基本方針

私たちは

1. 医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します。
1. 県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます。
1. 患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します。
1. 十分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します。
1. 使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます。

風邪によせて

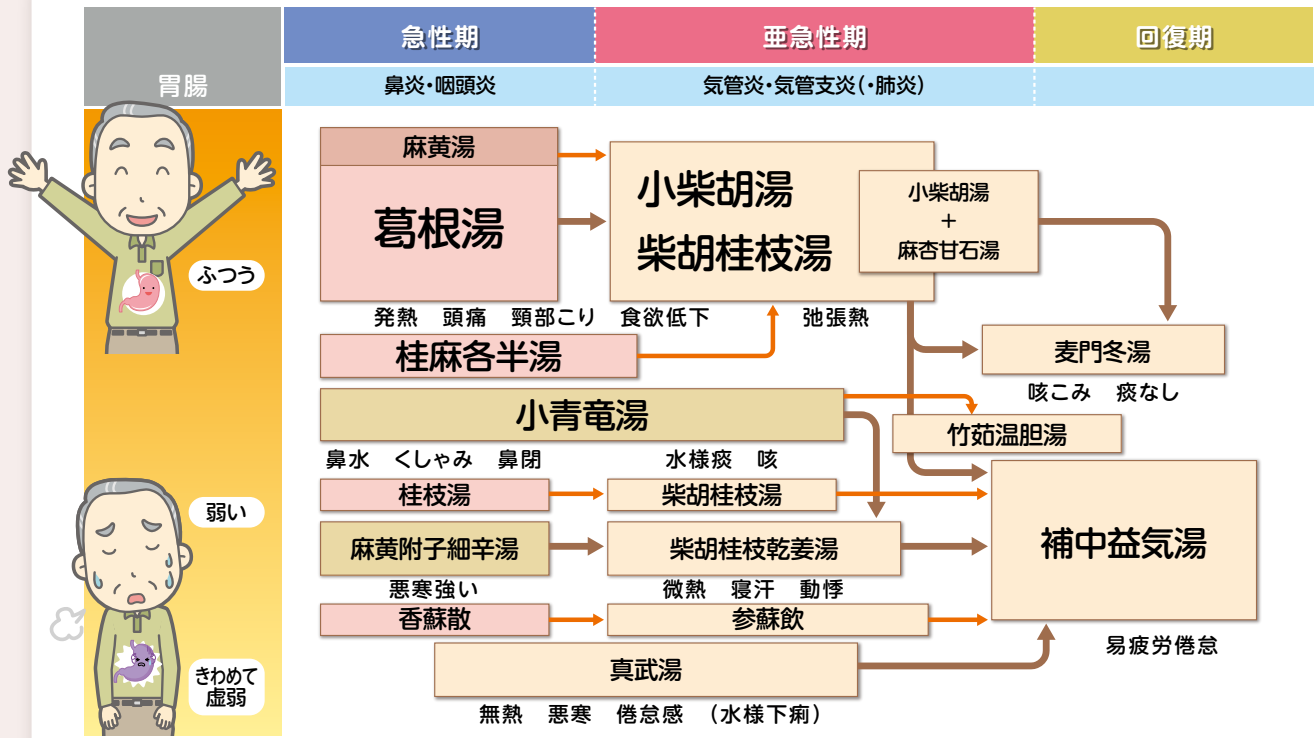
薬剤科 山田 葉子



冬の寒い季節は気(エネルギー)が内に集まります。冬は生命力を内に集め、春や夏に消耗したものを回復し、各機能を修復して次の季節へつなげていく役割があります。からだ冷えて新陳代謝が衰えると、第一に考えられるトラブルはインフルエンザに代表されるカゼです。乾燥に寒さが加わって冬には発生しやすくなります。

漢方薬の基本的な考え方は、心身全体の調和を図り、自然治癒力を重視します。様々な角度から症状や体質を考え、ひとりひとりに適した治療を選んでいきます。同じ病名でも病状の変化にしたがって異なった処方を用います。

暖房などで部屋を暖かくし過ぎるとかえって気の発散を強めてしまいます。部屋の温度は少し低めに設定し、衣服の工夫で体から熱が逃げないようにしましょう。



参考 ツムラ漢方スクエア・小太郎漢方製薬会社より

からだの学校

からだの学校が2016年度グッドデザイン賞を受賞しました!

健康コミュニティデザイン「からだの学校」が、このたび2016年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

*グッドデザイン賞とは、グッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。



からだの学校

概要

「からだの学校」は、日々の習慣を「からだの連絡帳」に記録。その記録されたデータと病院や健診データを連動させて、もっと健康に暮らすためのアドバイスを行う仕組みです。

主な内容

◆からだの連絡帳

日々の習慣を記録。手帳版とスマートフォンアプリ版があります。



◆からだポイント

「からだの連絡帳」への記録や調理実習等の課外授業に参加するとたまります。たまったポイントはJA夢みなみの農産物直売所「り菜あん」で豪華商品等と交換できます。



※写真はイメージです。

◆つうしんぼ

3人の先生が習慣についてアドバイス。



参加の流れ



◎お申し込みは無料です。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

からだの学校プロジェクト 白河事務局(白河厚生総合病院 白河総合診療アカデミー内)
0248(22)2211 内線3143 ホームページ <http://karagaku.org/>



こんにちは！

新任・転任 です。

白河厚生総合病院では、新しくとても優秀な先生が、新任・転任されました。
早く白河での職務に慣れる様精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。



名前 **川口 奉洋** 出身地 **福島市**
 略歴 平成13年 東北大学医学部卒業 診療科 **脳神経外科**
 資格 日本脳神経外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医 専門 **脳腫瘍、神経救急**

趣味・娯楽 **映画鑑賞、ドライブ、作家**

■ひとこと 11月より着任いたしました脳神経外科の川口奉洋です。東北大学病院では高度救命救急センターで神経救急に携わり、また定期的に神経内視鏡手術を担当しておりました。神経内視鏡手術は、脳を露出・圧排しない点で低侵襲であり患者に優しい医療であり、今後ますます適応の拡大が見込まれます。低侵襲化が進み高齢者でも治療可能となれば、地域に根付いた医療と高度な医療との融合が見込まれ、医療経済と地域活性化に貢献できるものと考えます。不慣れな間はご迷惑をおかけするかと存じますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

JA福島県職員連盟サッカー大会で優勝しました！！

福島県厚生連サッカーチーム 監督 **山田 裕輔**(白河厚生総合病院 臨床検査科)

平成28年10月29日、30日に開催されましたJA福島県職員連盟サッカー大会において当院職員を主力とする福島県厚生連チームが昨年に続き、見事2連覇を達成しました。

大会には私達福島県厚生連チームのほか県内JA関連団体がそれぞれに結成する9チームが参加し、1日目の予選と2日目の決勝、各リーグ計4戦勝ち抜き、見事に優勝しました。

私達のチームは医師を含めさまざまな職種から、20代から50代と幅広い年齢の選手が集まり結成されています。普段は白河市内の施設で月2回程度フットサルを行いながら、この大会の優勝を目標に年間を通して活動をしています。試合中は自分の体力の衰えを実感しながら、いいプレーには互いを称賛し、おもしろいプレーには爆笑するなど職種や年齢の垣根を越えて楽しい雰囲気です。



サッカーは選手11人が各ポジションでプレーし、ゴールの数を競うものです。ゴールする為には相手の攻撃を防ぎ、パスをつなげ、シュートを打つなど、仲間がそれぞれの役割で最大限のパフォーマンスをする事でゴールが生まれます。

私たちが行う医療にもサッカーと同じ事が言えます。医師を中心に看護師やメディカルがチームとして、各役割の中で患者さんそれぞれのゴールに向け、最良のパフォーマンスを発揮する事が我々の使命だと思います。サッカーで培ったチームワークを生かし、今後も地域住民のみなさまの心強い仲間であられよう努力して参ります。また、サッカーにつきましても大会3連覇を目標に頑張っていきたいと思いますので、みなさま応援を宜しくお願い致します。

解剖慰霊祭

10月22日(土)、あおき白河斎苑にて、第11回白河厚生総合病院解剖慰霊祭がしめやかに執り行われました。

ご遺族、医師、看護師等の職員が多数参列し、医学の発展のため、ご遺体を本院における解剖に献体された故人の御霊に対し、ご冥福をお祈りしました。出席者全員で御霊に黙祷を捧げ、前原和平院長の追悼の辞に引き続き、研修医代表の渡邊宏剛先生が感謝のことばを捧げました。

その後、参列者全員による献花が行われました。



第30回 地域医療連携協議会を 開催して

地域医療連携室 室長 大津 典子



この連携協議会は、県南医療圏における医療介護の資源を最大限に活用するため、施設間の情報交換や連絡調整を通じて連携、ネットワークを構築していくことを目的に、平成18年9月に第1回を開催いたしました。それ以来、情報交換・研修会・検討会などで会を重ね、去る11月10日には58名のご出席をいただき、30回目を開催することができました。連携医療機関の皆様には日頃よりのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

今年度実施した地域医療連携協議会では、誤嚥性肺炎による肺炎リスクの高い患者さんへの対応の報告、県南地域の退院支援ルールの運用現状の報告、在宅での看取りを考える講演会や在宅支援に関係する皆さんからの話題提供などを行い、情報の共有を深めました。

今後もその時々々のタイムリーな話題を取り上げて活発な意見交換の場とし、「顔の見える地域医療連携」を進めて参りたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。

白河厚生総合病院附属高等看護学院
与儀 桂

12月8日(木)、白河厚生総合病院附属高等看護学院講堂にて白河市長をお招きし講演会が行なわれました。

来春から社会人となり地域医療を担うようになる当学院3年生及び教職員ら約40名が参加し、鈴木和夫市長と膝を交えて話をしました。

市長さんは自らの新人時代の体験を交えてお話しくださいました。「不器用さは悪いことではない。苦勞して覚えたものは決して無駄にはなりません」「人生のうちで、仕事に費やす時間は大きい。仕事を通して自分を鍛え、人生を楽しんで欲しい」学生だけでなく、教職員の心にも響く温かい講演でした。

白河市長特別講演



災害看護研修報告会



白河厚生総合病院附属高等看護学院 佐川 明美

今年の夏、2年生の緑川結佳さんが東北の看護学生11名とともに8月6日から8月20日までの15日間にわたり渡米し、ニューヨークとワシントンDCで実施された災害看護の研修プログラムに参加しました。

緑川さんの学びを聴くことにより災害時の看護の役割について考える機会とするため、12月21日(水)、白河厚生総合病院附属高等看護学院講堂にて学生及び教職員100名が参加し「災害看護研修報告会」を開催しました。

米国での様々な災害と有事の際の対応について、実際に災害を経験した医療従事者・各機関の専門家および災害看護のリーダーから直接学んだことを、学生達は真剣に聞いておりました。

第36回日本核医学技術学会総会学術大会 優秀論文賞を受賞して

放射線科主任
小室 敦司



11月3日～5日に名古屋市で開催された第36回日本核医学技術学会総会学術大会において「心筋血流SPECTにおける心筋血流定量評価のための摂取率測定法の考案」が平成27年度優秀論文賞をいただくことができました。優秀論文賞は日本核医学技術学会が年度毎に受理した原著論文の中から一編選ばれる賞であり大変光栄に思っております。

論文の内容について説明させていただきます。核医学検査で行われている心筋血流SPECTは主に心臓の筋肉に流れる血液の状態や動きを画像化し評価する検査になり、虚血性心疾患を対象とした負荷心筋血流SPECTでは、負荷誘発の血流低下に基づき虚血の検出や重症度評価を行っています。しかし、相対分布評価であるため、左主幹動脈や多枝病変例において心筋の虚血を過小評価する可能性が指摘されていました。これらの症例での診断精度を向上させる目的で心筋血流を定量評価できないか検討しました。心筋血流量(Myocardial Blood Flow、MBF)[mL/g/min]は以下の式から求められ、心筋組織の放射エネルギーCmc(T)[Bq/g]と動脈血の入力関数Ca(t)[Bq/mL]の情報が必要になります。

$$MBF=C_{mc}(T)/\int_0^T C_a(t)dT$$

定量性が安定する画像再構成法を用いた心筋SPECTと、薬剤投与時の大動脈弓部の時間放射能曲線より第一循環成分の曲線下面積(Area Under the Curve、AUC)を算出し、Ca(t)は3次元単位系[mL]を有するのに対して、AUCがそれをもち得ないことからMBFに比例する指標として摂取率測定法(Myocardial Uptake Ratio、MUR)を次式で定義しました。

$$MUR=C_{mc}(T)/AUC$$

心筋血流予備能(Myocardial Perfusion Reserve、MPR)も求められ診断に役立つことが期待されます。

最後に、このような賞をいただくことができたのは研究に理解、協力していただいた循環器内科齋藤副院長、泉田副部長、そして放射線科担当看護師のおかげであります。今後も診療放射線技師として常に向上心を持ち、患者さんに必要な情報を提供していきたいと思っております。

医療安全推進週間の取り組み報告

リスクマネージャー 大野 あけみ

11月24、25日に当院1階フロアで患者さんやその家族の方へ「安心して安全な医療を提供する場」である病院を知って頂くことを目的として「医療安全推進週間」活動をおこないました。「医療安全推進週間」とは、厚生労働省が11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め「患者さんの安全を守るための医療関係者の共同行動」と「国民の理解と認識を深める」ことを目的として取り組む活動です。当院では、薬品管理・運搬方法を写真で掲示、手洗い実践、栄養補助食品相談等をおこないました。初めての取り組みでしたが、患者さんや家族の方へ病院がどのように医療安全に対する取り組みをおこなっているか知って頂くいい機会になったと思います。来年度もこの活動を継続し、病院の医療安全対策について知って頂く機会としたいと考えております。



院内 クリスマスコンサート 開催



総務課 佐藤 優梨希

平成28年12月22日、職員と付属高等看護学院生が扮するサンタクロースとトナカイの出迎えを受け、当院の会議室においてクリスマスコンサートを開催いたしました。

病院の職員で結成された合唱団が歌うクリスマスソングや、看護学院生達のハンドベル演奏、お招きしたプレジールオーケストラの方々、矢吹ヶ原グリークラブの方々によるプロ顔負けの演奏や歌声。それぞれクリスマスコンサートを見に来てくださる方々に喜んでいただきたい一心で一生涯懸命練習を重ねてきました。

会場に集まってくださった方達は演奏と一緒にリズムを取ったり、合唱に合わせて歌ったり、1人ひとりが音楽を楽しみ、心温まるクリスマスのひと時を過ごされました。

初期臨床研修と臨床教育実習のご理解とお願い

研修医が診療を担当させていただくことについてのお願い

当院は、医師法第16条の2第1項に基づく基幹型臨床研修病院として、次世代の医師を育成しております。次世代の医師を育てることは、将来、安全・安心な医療を受けるために必要です。研修医も診察をいたしますが、指導医はじめ、多職種の職員が研修医の指導にあたります。今後も、研修医の育成に、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

当院は、医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師など各種学校の臨床実習病院になっています

実習を通じて患者さんとの関わりを学ばせていただくために、外来での見学を行ったり、入院中の患者さんを職員と一緒に受け持たせて頂いたりすることがあります。また救急救命士、あるいは他院の看護師や技師などに研修の場を提供しています。指導者の責任のもとに実習を行いますので、ご理解とご協力を賜りたくお願いいたします。

白河厚生総合病院 病院長

面会制限のお願い

インフルエンザとノロウイルス(胃腸炎)の流行期を迎え、院内の面会制限を12月より実施しております。原則としてご家族のみの面会となります。なお、15歳以下のお子様の面会をご遠慮いただいております。入院患者さんへの感染を防ぐためご面会の方は時間を厳守(14時~20時)していただくとともに必ずマスクを着用し、手洗いを行ってくださいますようお願いいたします。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



「咳エチケット」にご協力ください。

インフルエンザは、咳やくしゃみにより飛ばされた飛沫(しぶき)によって感染します。

飛沫感染

- ①感染者の咳やくしゃみと一緒にウイルスが放出される。
- ②別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染する。



接触感染

- ①感染者が咳やくしゃみを手で押さえる。
- ②その手で周りの物に触れてウイルスが付く。
- ③別の人がそのものに触れてウイルスが手に付く。
- ④その手で口や鼻を触って粘膜から感染する。



感染を広げないために、一人ひとりが「うつさない」「かからない」対策を実践しましょう。



※手洗い場が近くにない時(外出時など)はウェットティッシュでも代用できます。

院内感染対策委員会

お問い合わせ

福島県厚生農業協同組合連合会

白河厚生総合病院

TEL:(0248)22-2211 FAX:(0248)22-2218 E-Mail:info1@shirakawa-kosei.jp



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C020493

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。



外来診療担当表

●受付時間:午前8時00分から午前11時30分

(各診療科ごと、曜日ごとに受付時間が変更になる場合がありますのでご注意ください。)

●休診日:日曜日/祝日/第1・3土曜日/お盆(8月16日)/年末年始(12月30日~1月3日)

平成29年1月1日より

科名	診察時間	月	火	水	木	金	土
【総合診療科】	8:30~11:30	林 理生 鈴木 龍児	東 光久 添野 祥子	東 光久 宮下 淳	林 理生 藤井 浩太郎	高 俊彦 武田 大樹 藤 石 龍人	〈第2・4・5は交代で診察〉
【第一内科】 消化器内科 一般内科	8:30~11:00	新患担当医 岡野 健	新患担当医 岡野 健	小林 茂之 岡野 健	新患担当医 岡本 裕正 金澤 義丈	高 康彦 岡本 裕正	〈第2・4・5は交代で診察〉
【第二内科】 循環器 血液 一般内科	8:30~11:30	斎藤 恒儀 白土 裕也 菅野 優紀	斎藤 富善 三田 正行 泉田 次郎	斎藤 恒儀 中村 研一 菅野 優紀	斎藤 富善 前原 和平(循環器) 泉田 次郎 池添 隆之(血液) 福島医大(循環器) 〈第3〉中里 和彦 〔肺高血圧外来〕 午後(予約制)	(第1・3・5) 斎藤 恒儀 中村 研一 菅野 優紀 (第2・4) 斎藤 富善 白土 裕也 泉田 次郎	〈第2・4・5は交代で診察〉 斎藤 富善(予約制)
【第三内科】 糖尿病 腎・高血圧 代謝・内分泌 一般内科	8:30~11:30	平井 裕之	平井 裕之	田中 健一 (腎臓内科) 草野 良郎	高橋 充彦 (内分泌) 平井 裕之	草野 良郎	草野 良郎 平井 裕之
	13:30~15:30	草野 良郎 (予約診療のみ)	草野 良郎 (予約診療のみ)				
【呼吸器科】 内科	8:30~11:00	—	福島医大	鈴木 茂毅 前原 和乎	—	前原 和乎 福島医大	前原 和乎/大杉 純 (第2・4・5は予約診療のみ)
外科 (火・水・金及び、第2・4・5土曜は必要に応じて診療)		大杉 純 (予約診療のみ)	(予約診療のみ)	(予約診療のみ)	大杉 純 福島医大 (新患受付10:30まで)	(予約診療のみ)	
【小児科】	8:30~11:30	村井 弘通 宮崎 恭平 柳沼 和史	小野 敦史 宮崎/柳沼交代で診察 (心工コー外来) 遠藤 起生	村井 弘通 福島医大 小野 敦史	村井 弘通 福島医大 宮崎/柳沼交代で診察	小野 敦史 福島医大 宮崎/柳沼交代で診察	〈第2・4・5は交代で診察〉
	14:00~	一般外来15:00まで 村井 弘通 宮崎 恭平 柳沼 和史	〈予約制〉 1ヶ月健診 受付13:30まで 小野 敦史 宮崎/柳沼交代で診察	(第2・4)鈴木 順造 〔腎臓・アレルギー〕 疾患外来 村井 弘通 福島医大	〈予約制〉 予防接種15:00まで (予約制)	〈予約制〉 (第1・3・5未熟児外来) (第2・4未熟児/慢性) 小野 敦史 福島医大	
					()は村井・小野・宮崎・柳沼のいずれかが担当		
【心療内科】 (予約制・再診のみ)	8:30~11:30		板垣 俊太郎		阿部 理 (第2・第4週診察)		
【神経内科】	8:30~11:30	榎本 博之					
【外科】	8:30~11:00	竹村 真一 神賀 貴大	竹村 真一 大谷 肇 土井 孝志	神賀 貴大 佐藤 好宏	佐藤 好宏 大谷 肇 土井 孝志	竹村 真一 神賀 貴大 土井 孝志	〈第2・4・5は紹介予約診療のみ〉
		〈予約制〉 肛門外科(14:00~) 竹村 真一		〈予約制〉 ヘルニア外来	〈乳腺外科〉14:00~ 土井 孝志		
【整形外科】	8:30~11:00	齋藤 弘晴 鈴木 幹夫 平井 亨	金子 英彰 茂呂 貴知 平井 亨	(予約診療のみ) 金子 英彰 脊椎疾患専門外来 加藤 欽志	齋藤 弘晴 鈴木 幹夫 福島医大	金子 英彰 鈴木 幹夫	〈第2・4・5は交代で診察〉
	14:00~15:30		(第1・3)(予約診療) 膝関節疾患専門外来 土屋 原	(第1・3・5)(予約診療) 肩関節疾患専門外来 穴戸 裕章			
【脳神経外科】 (新患受付は10:30まで)	8:30~11:00	川口 奉洋	川口 奉洋	手術 日 (急患のみ診察)	川口 奉洋〔新患のみ〕	川口 奉洋	応援医師 交代で診察
【産婦人科】 (火曜日のみ 受付10:00まで)	産科 8:30~11:00 婦人科 8:30~11:00	遠藤 雄大 山内 隆治	齋藤 史子 中村 聡一	山内 隆治 古川 茂宜	古川 茂宜 齋藤 史子	〈交代で診察〉 中村 聡一	〈第2・4・5は交代で診察〉
	13:30~	中村 聡一 齋藤 史子	古川 茂宜 山内 隆治	長谷川 清志 遠藤 雄大	中村 聡一 山内 隆治	古川 茂宜 山内 隆治	〈第2・4・5は交代で診察〉
		〈手術〉	〈1ヶ月健診〉	〈手術〉	〈母親学級〉	〈手術〉	
【眼科】 (予約制)	8:30~11:30	伊勢 重之	伊勢 重之 福島医大	〈手術〉	伊勢 重之	福島医大	伊勢 重之 福島医大
	13:30~	〈手術〉	〈検査〉	〈検査〉	〈検査〉	〈検査〉	
【耳鼻咽喉科】	8:30~11:00	石川 浩男 國井 美羽	大島 猛史 國井 美羽	石川 浩男 國井 美羽	石川 浩男 國井 美羽	福島医大 石川 浩男	大学医師 石川/國井交代で診察
	13:30~	〈検査〉	〈手術〉	〈手術〉	〈特殊外来〉	〈特殊外来〉	
【皮膚科】	8:30~11:30	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	応援医師	
【泌尿器科】	8:30~11:30	喜屋武 淳 福士 太郎	喜屋武 淳 小山 淳太郎	福士 太郎 小山 淳太郎	喜屋武 淳 福士 太郎	喜屋武 淳 小山 淳太郎	〈第2・4・5は交代で診察〉
【放射線科】		浦部 真平 浦野 崇	浦部 真平	浦部 真平	浦部 真平	福島医大	福島医大
【麻酔科】		岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥
【心臓血管外科】		佐戸川 弘之					
【緩和ケア相談外来】						13:30~(予約制)	